



秋田市の大腸がん検診を受けるかたへ

大腸がん検診の流れ

受診の前に採便容器をもらい、大腸がん検診（便潜血検査）を受けます。

約6週間後、秋田市から結果を自宅に送付します

1日目



2日目

便潜血検査

事前に採便容器に2日分採便し便に血液が混じっていないかを調べます。採った便を検査するだけなので、**簡単で安全に**できます。

異常なし

大腸がんの中には急速に進行するものもあります。**年に1回、定期的に**検診を受けましょう

受診勧奨※1

※1 便潜血検査では異常なし(陰性)ですが、問診で所見があったかたに通知します。

要精密検査

保険診療です

自覚症状がなくても精密検査を必ず受けましょう

精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査です。
(便潜血検査の再検は不適切とされています)

下剤で大腸を空にした後に、内視鏡で大腸を撮影し、がんやポリープなどがいないか調べます。全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸X線検査の併用となります。

検査方法は実施医療機関で異なる場合もあるため、各医療機関にご相談ください。

なお、精密検査結果は、精度管理のため秋田市と大腸がん検診を受診した医療機関にも情報が共有されます。

健康な 今こそ受けよう がん検診!

詳しくは、秋田市HP「大腸がん検診について」をチェック



問い合わせ先 : 秋田市保健所 保健予防課

TEL 018-883-1176~1178



大腸がんの死亡率は、肺がんに次いで第 2 位

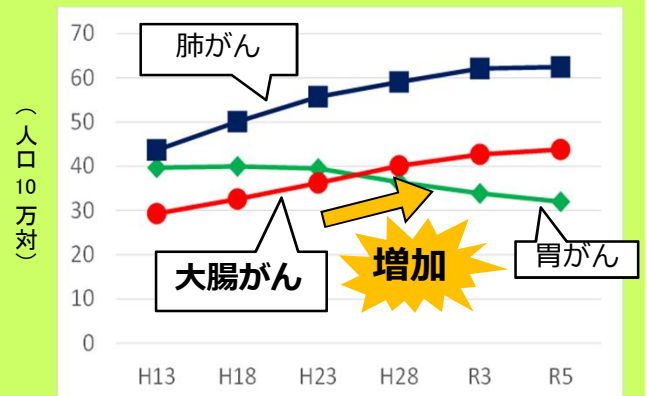
男性のがん死亡原因の第 2 位

女性のがん死亡原因の第 1 位

**大腸がんは、早期に見つければ、
ほぼ治ります※2**

※2 ここでいう「治る」とは、診断時からの5年相対生存率です。
相対生存率とは、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数字です。

部位別がん死亡率の推移（全国）



出典：人口動態統計（厚生労働省）

大腸がんの予防のポイント

1 運動

運動は、大腸がんを予防する効果が
確実といわれています。

継続できる運動習慣
をもち、太りすぎに
注意しましょう。



2 禁煙・節酒

たばこは吸わない、お酒は飲み過ぎない
ようにしましょう。

喫煙やお酒の飲み過ぎ
は、大腸がんになる危
険性が高まります。



3 食生活

主食、主菜、副菜のそろったバラ
ンスの良い食事を、習慣的にとること
が大切です。



定期的（毎年）に検診を受けること
が重要です。

血便、腹痛、便の性状や回数に変化し
たなどの症状がある場合は、次回の検
診を待たずに医療機関で診察を受けて
ください。

大腸がん検診の有効性等について

便潜血検査による検診は、大腸がんの死亡率の減少効果があると国が認めている有効な検診ですが、必ずがんが発見できるわけではありません。また、がんでないのに「要精密検査」となる場合もあります。

厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」より